

心に残る文化財子ども塾 安来市立井尻小学校

1. 活動の概要

7/1(月)、安来市立井尻小学校の5・6年生4名とともに、奈良時代についての授業を行いました。

授業の前半は大仏が作られた時代や安来市内の古代遺跡について学習し、後半は和同開珎づくりと、奈良時代の土器や本物の和同開珎に触れる体験をしました。

はじめに、先生と奈良時代についての事前学習の答え合わせを行い、次に安来市内にも出雲国風土記に登場する古代のお寺や、その屋根に葺いた瓦窯があり、安来が当時から先進的な地域であったことを学習しました。

次に大仏と同じ鑄造という技術で作られた和同開珎づくりに取り組みました。鑄造は低融点金属を溶かし、代表児童が鑄型への流し込みを行いました。鍋を持つその手や表情からはかなり緊張した様子が伝わってきましたが、上手く注ぎ込むことができました。高温の金属が冷え固まるまでの間を利用して、遺跡から出土した奈良時代の食器や和同開珎を手にとって観察をしました。和同開珎は銀製と銅製を用意し、本物の質感や重さの違いなども感じる事ができたようです。金属が冷却したところで児童は研磨作業に取り掛かりました。慣れるまでは苦労したようでしたが、熱心に取り組んでいました。光沢を放ち始めたところで時間となりましたが、全員満足そうな表情でした。

今回の活動は、身近な遺跡や地域の歴史について知る良い機会となったのではないのでしょうか。

2. 活動の様子



それでは今日の学習内容を確認しましょう



ピカピカになってきました～✨

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- 普段できない和同開珎づくりを体験できてよかった。
- レプリカ(模鑄銭)の作り方がわかった。
- 磨くのが一番楽しく、心に残った。
- 奈良の大仏の大きさを体験してみたい。
- 本物の和同開珎に触ることができたことがよかった。
- 本物を見たり触ったりして重さや大きさを感じることができた。
- どんどんピカピカになっていくのが楽しかった。
- 昔のお金についてもっと知りたいと思った。
- 大仏の作り方を知りたい。

2)担任の先生から…

- 和同開珎づくりの体験ができて良かった。
- 安来の遺跡についての紹介・説明があり良かったが、遺跡の様子がわかるような画像があるとより具体的で良い。

3)埋文センターから

単なる工作体験で終わるのではなく、歴史学習に位置づけることに留意しました。わずか1時間という限られた時間でやや窮屈な展開となりましたが、児童は最後まで集中して真剣に話を聞き、体験活動も楽しそうに取り組んでいたように見受けられました。今回の活動が歴史や地域に興味を持つきっかけになればと思います。

当初の希望は大仏パネルでしたが、児童5人では片付けを含めると時間枠内に収まらず、断念していただきました。大仏の大きさ体験希望は児童のアンケートからもうかがえ、希望に添えなかった点は悔やまれます。今回のように時間調整ができなかった場合は、小規模校で実施するうえで今後の課題とさせていただきます。